

フラワーガーデン



園芸総合センター
渡辺 二郎

冬花壇を作る準備

まだまだ暑い日が続きますが、冬を彩る花壇を作るには今から準備が必要なのです。苗を購入する場合はまだまだ先の話ですが、種播きの場合ならその作業はもう目の前です。それでは、冬の花壇を作るための種播きなど準備に関する注意点を述べてみましょう。

一 冬の花壇に使える草花 ☆クリサンセマム



代表的なものにパルドーサムというものがあります。純白の花で一般的にノースポールと呼ばれています。これは品種名であり、種名ではありません。黄花のものでマルチコレというものがあります。原産地はヨーロッパ南部で花期は十月、五月、植え付けは九月、三月に行います。

☆アリッサム

小さな花が密生して咲き、やや鼻につく香りがあります。白花が多いのですが、赤、紫色などもあります。地にはうように伸びるので春花壇の縁取りなどに使われま

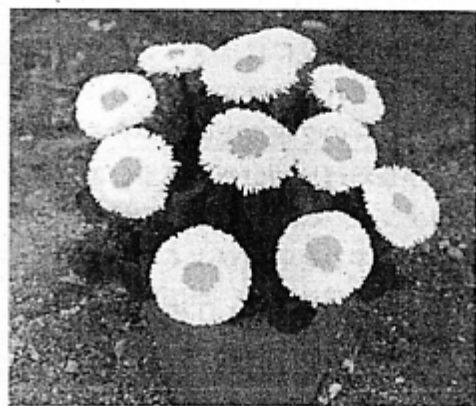
☆タステイミラー



一般にシロタエギクと呼ばれ、花よりも銀白色に見える草姿を楽しむことができます。冬花壇の縁取りなどに使われます。シルバーレースもシロタエギクとして売られています。キク属の別種です。

☆デージー

和名ではヒナギクといい、雛祭りの頃咲くことからこう呼ばれています。原産地では芝生に生える雑草で一重咲きの白花ですが、園



芸用としてはさまざまな色のものがあります。

☆ハナナ



寒い時期にきれいに咲き、また直播きで簡単に作れます。九月中旬に種を播くと香川では十二月頃から花を楽しめます。

☆ハボタン

きれいに着色した葉を鑑賞する冬花壇には欠かせない植物です。お正月の寄せ植えや門松飾りにも使われたりします。最近では茎が長く伸びてその先に結球する切り花品種も作られています。

☆パンジー・ピオラ

冬花壇の主役ともいえるのがパンジー、ピオラです。寒さに強く、冬でも次々に花を付けるので冬花壇をカラフルに飾っているものほとんどがパンジー、ピオラであると言っても過言ではありません。

花色は白、黄、紫、青、赤、オレンジと多彩で、花の大きさも1cmから10cm以上のものであります。

二、種播きの仕方

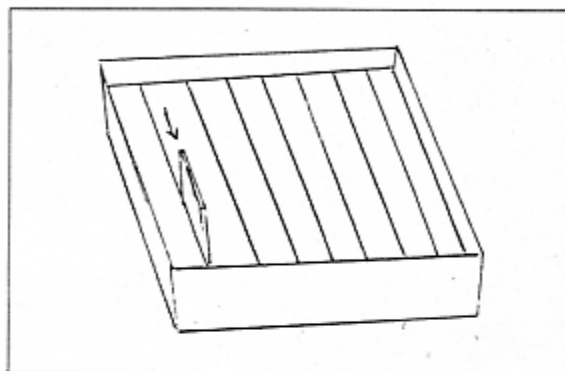
それでは、パンジーを例にとつて種播きの仕方を説明しましょう。

☆用土

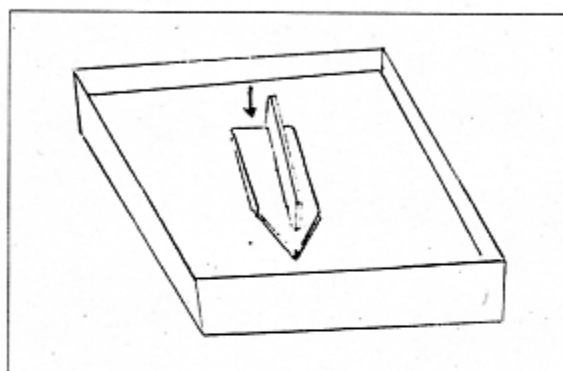
ピートバンまたは赤玉（小粒、微塵は取り除く）七+パーミキユライト（小粒） 三

☆容器

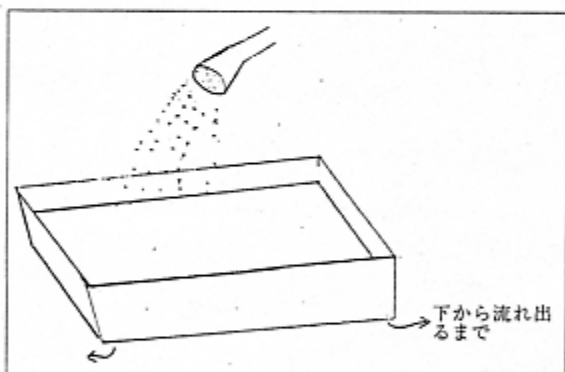
ピートバンの場合は専用の容器。その他の用土では平型の育苗箱。



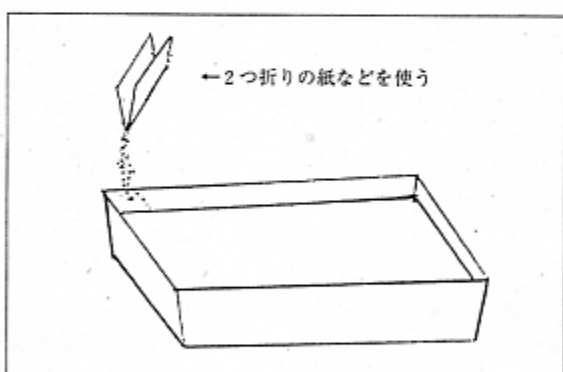
▲②種を挿くすじをつける。



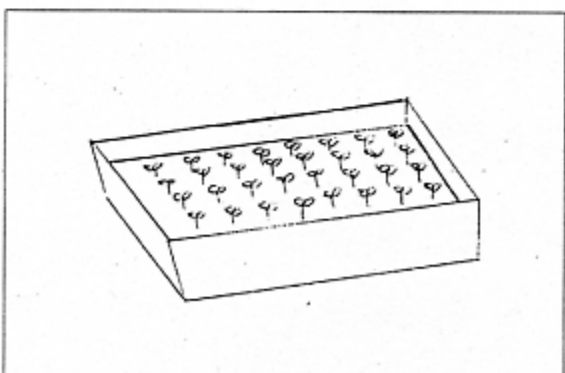
▲①土を6分目ほど入れ、平板で軽く押さえる。



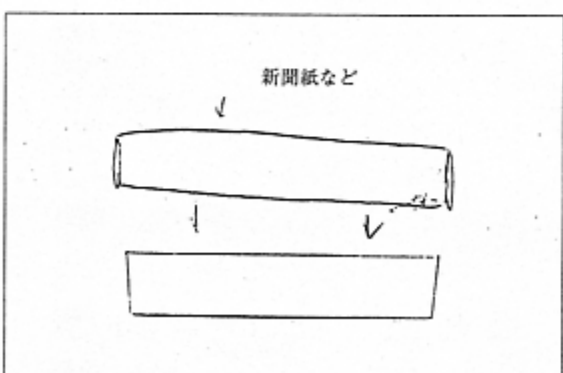
▲④種が隠れる程度に土をかぶせ、平板で押さえてからジョロでたっぷり水をやります。



▲③種をまんべんなく、薄目に播く。



▲⑥発芽がそろったら日よけを取り除きます。



▲⑤日差しが強い頃なので日よけをする。